

櫻

～けやき～

成田市立中台中学校 学校だより

文責：内田 淳

令和7年 2月14日(金) Vol.41

学校教育目標 『自ら学び、豊かな心を持ち、たくましく生きる生徒の育成』

「仲間も自分も大切に」「感動・感謝を大切に」
「団結・協力を大切に」「命を大切に」



【ホームページへ】

試験を乗り越える10の心得

入試を控えた3年生に、ぜひ心に留めてほしい内容をまとめました。3年生のみならず、定期テストを目前に控えた1、2年生にも心得てほしいところです。一人ひとりが、全力を発揮できますように。

【前日まで】

①夜更かしをしない

朝、すっきりと起きるためにも、早めに就寝しましょう。なかなか眠れないときは、焦らずに、温かくして、布団に横になっているだけでもよいのです。

【入試当日】

②深呼吸をして落ち着く

まず必ず記名をして、できる問題から解きましょう。名前を書いて深呼吸しても、30秒もかかりません。面接や実技、自己表現などは、練習どおりにできれば、きっと大丈夫。明るく元気に表現すれば、思いは伝わるはずです。

③周囲に惑わされない

試験会場では、見かけるいろいろな受験生を、「あの人、頭よさそうだなあ」と思ってしまうもの。でも、もしかしたら、あなたも、周囲から「あの人、頭よさそうだなあ」と思われているかもしれません。周囲に惑わされず、目の前のやるべきことに集中しましょう。

④できる問題から解く

解き始めて「ちょっと難しそう。手間がかかりそう」と感じたら、気持ちを切り替えて、次の問題に移りましょう。確実に解ける問題をまず片付けて、じっくりとボスキャラを攻める心構えで。

⑤自分の力を信じる

「私ほど勉強してきた受験生はいない！」…それぐらい自分に言い聞かせ、自分を励まして、高めていきましょう。もしも難しい問題が出たとしても、他の人もみんな同じように難しく思っているものです。ぎりぎりまで、自分の力を信じましょう。この日のために頑張ってきたのです。

⑥あきらめない

難しくてパスした問題も、ふとしたきっかけで、何かを思い出すかもしれません。時間いっぱいまで、授業、ワーク、ノート、先生や友達のアドバイスなどを思い出してみましょう。

⑦見直しをする

何があっても、名前と受験番号などは、必ず見直しましょう。また、「漢字で書きなさい」「記号で答えなさい」「3つ選びなさい」などの、問題の指示を読み飛ばして、不完全な答えを書いてしまうこともあります。マークシートがずれてしまうという、世にも恐ろしいミスもありえます。

⑧振り向かない

済んだことは振り向かず、次に向けて気持ちを切り替えましょう。廊下で新鮮な空気を吸ったり、手を洗ったり水分を取ったり。「さっきの教科、問3が合ってるか心配…」などと「過去」を心配するより、次の科目を確認するなど、迫り来る「未来」をしっかりと待ち構えましょう。

【入試終了後】

⑨家に着くまでが入試

試験が終わったら、まずはまっすぐ家に帰りましょう。家族も、無事に帰ってくることを、きっと心待ちにしています。もちろん帰宅後は、終わった試験を振り返るより、明日の持ち物や日程を確認し、明日に備えて落ち着いて過ごし、夜更かしをせず、ゆっくり休むようにしましょう。

⑩結果を心静かに待つ

誰もが不安な気持ちになりますが、「人事を尽くして天命を待つ」という言葉のとおり、やるべきことをやったなら、あとはひたすら、信じて待つだけです。そして、どんな結果でも受け止められるように、心の準備をしっかりとしましょう。受験が終わってからも、本当の勝負なのです。

それぞれの春に向かって

寒い日が続きますが、生徒たちは、学習や部活など様々な活動に積極的に取り組んでいます。3年生は、時に助け合い、時に自分と向き合って、今この瞬間も頑張っていることでしょう。



【入試の中で、自己表現としてスピーチなどを実施する学校が多いです。原稿を読みながら、仲間に時間を計ってもらい、何度も練習に取り組んでいます】

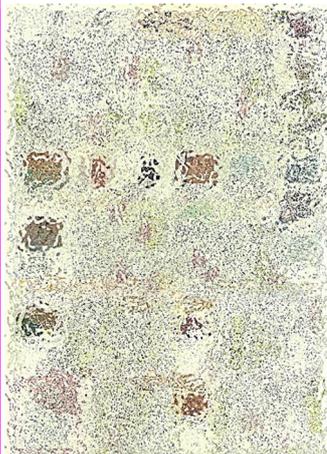


【とある高校は、入試で体育の実技検査を行います。そのため、先生と一緒に柔道を特訓中の3年生もいました。みるみる上達し、見事に技が決まりました】



【国・社・数・理・英の5教科は、全ての単元を学習し終えて、まとめや復習の問題演習を行っています。解き終わったら、仲間同士で確認しながら答え合わせをします】

1、2年生も、こつこつと積み重ねて、力を付けています。新聞やレポートの作成によって、情報を選択し、解釈して、構成する力が身に付きます。書き初めを通じて、集中力や粘り強さ、そして表現力が身に付きます。それらの力は、今後、社会科や書写以外の学習の場面でも、大いに発揮されることでしょう。



【2部会社会科資料作品展にて2人の作品が金賞に選ばれました。1年生の「平安時代新聞」は、「国風文化のいろいろ」を紹介し、仮名文字の発明や、装束や食事、家屋など、平安時代の特徴を、様々な角度から詳しくまとめています。これを読めば、平安文化の概要がよく分かります。2年生の「ニュースノート」は、世の中の様々な出来事を調べ、まとめました。ここでは、昨年9月に発生した「能登半島豪雨」を取り上げたページを掲載します。このほかに、「地球温暖化」など多岐に渡るテーマを扱い、掘り下げています。どの記事も、事実、背景や経緯、意見や感想を整理してあり、たいへん分かりやすいです】

【2部会書き初め展では、〇〇（1B）さんの作品が、特選賞。また、成田市選挙啓発書き初め展では、〇〇さんと〇〇さん（1A）が「推薦」に選出されました】

本校の花壇を彩る花たちは、寒風に耐えて、わずかな光を逃さず捉えて吸収し、根っこをぐんぐん伸ばし、春が来ることを信じて、じっと待ち続けています。積み重ねる活動は、この状態に似ています。すぐには結果が出ないので、根気がいります。諦めそうになる自分の気持ちに、打ち勝つ心が大切です。

今は、あなたも含めて、日本中の中学生在が、不安を抱えながら目標に向けて頑張っています。テスト、入試、3送会など、それぞれの目標に向かって、今日も明日も明後日も、一歩ずつ進んでいきましょう。

「冬来たりなば、春遠からじ」と昔から言います。厳しい冬が来ている今、春もそう遠くはありません



【情報文芸部が2月の行事ポスターを掲示しています。2月はバレンタインデーがテーマ。一人ひとりの、いろいろな思いや願いが叶いますように】

【十五日、サッカー部は本校校庭にて、二部会大会の決勝戦に臨みます。九時キックオフ！】